

第1学年 特別の教科道徳 学習指導案

第1学年2組 31名
授業者

第1学年分科会がめざす児童像

伝える楽しさを感じながら、自分の思いや考えを伝えることができる児童

1 主題名 じぶんの よさ (内容項目：A 個性の伸長)

2 ねらいと教材名

(1) ねらい

人には様々なよさがあることに気付くことで、自分が得意なことや苦手なことは何なのかを考え、自分や友達の特徴に気づき、それを大切にしようとする心情を育てる。

(2) 教材名

「あなたって どんな 人？」(出典：日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

個性とは、他の人とは異なる個人特有の特徴や性格である。他の人と異なることを否定的に捉えるのではなく、「自分らしさ」として捉えるようにしたい。また、「個性の伸長」とは、自分の特徴に気づき、長所を伸ばし短所を補うことで調和のとれた自己形成をしていくことである、児童が自分らしい生き方について考えを深め、将来にわたって自己実現を果たせるようにするために、重視したい内容である。

しかし、低学年で自分を意識することや自分の特徴に気付くことは、それほど簡単なことではない。そこで、友達とよさを見付け合う活動を通して、人には様々な特徴があるということに気付かせるとともに、自分の特徴やよいところを見付け大切にしようとする心情を育てたい。

(2) 教材について

本教材「あなたってどんな人」は「ぼく」が友達の特徴を紹介することを通して、友達のよいところに気づき、自分もよいところを真似したいと感じる内容である。本教材に含まれるよさは、学校や日常生活の具体的な場面で見られるものであり、児童がイメージをもちやすい内容となっている。それぞれの登場人物について「どんな人」と問うことにより、各自のよさや努力点に注目させることで、友達のよさに気付く観点をもたせる。

教材を使って学んだ後は、友達同士で互いのよさを見付けて伝え合う活動を行う。友達から自分のよさを教えてもらうことによって、自分の特徴について気付かせたい。

4 児童の実態

本学級の児童は、自分を客観視することが十分にできない。自分の特徴に気付くのは、家族や教師から褒められたり、友達から自分のよさを認めてもらったりしたことがきっかけとなる場合が多い。外からの働きかけによって自分の特徴に気づき、その気づきを児童が具体的な生活場面で実感することによって自分の特徴への気づきがより確かなものとなり、自分のよさを伸ばしていくことにつながっていくと考える。

本学級では、帰りの会でその日頑張っていた友達や、優しくしてくれた友達の名前と行動を発表し、

学級全体で称賛する活動(ぴかぴかさん)を行っている。時間の都合で発表は3人までに絞っているが、毎日それ以上の児童が手を挙げるため、全体的に友達の頑張りや優しさを素直に認められる傾向があると考えられる。ぴかぴかさんで発表する人数について「もっと多くしたい」「ちょうどいい」「もっと少なくしたい」の3択でGoogle フォームを利用して児童に聞いたところ、多くしたいと答えた児童は「友達がみんないい子だから」「自分が呼ばれるかもしれないから」「みんなの『いいね』がもっと聞きたいから」「発表したりされたりするのが好きだから」と、友達の良さを伝えたい、伝えられたいという主旨の理由を挙げていた。一方で少なくしたいと答えた児童の理由を聞くと「すぐに家に帰れるから」「帰りが遅くなると怒られるから」と下校時間への影響についての考えが出ており、「思いつかないから」「聞いていてもつまらないから」というような友達のよさを発表する活動そのものに否定的な気持ちを抱いている意見は出なかった。

本教材で友達とお互いのよさを見付け合う活動を通して、友達や自分の特徴を客観的に見つめる機会をつくるとともに、自分のよさにできるだけ多く気づき、自分のよさをさらに伸ばしていこうとする心情を育みたい。

5 子どもの思いや考えをつなげるICT活用の意図

<ICT活用によって、ねらう効果>

【映像資料】

- ・導入で、帰りの会に行っているぴかぴかさんの発表の様子動画を流し、学習への意欲を引き出す。
- ・普段発表している内容が一人ひとりのよさにあたることをおさえ、友達のよさを見付けるときの手掛かりにさせる。
- ・帰りの会では時間の都合でいつもは3人までしか発表させていないが、本時はたくさんの友達に自分が見付けたよさを伝えられる場を設定することで、活動への意欲をもたせる。

【スライド】

- ・教材文の読み聞かせの際、挿絵と重要な台詞等を中心に作成したスライドを見せることで、本時では何について考えればよいのか、焦点化を図って考えをもたせやすくする。

【オクリンク】

- ・友達のよさを伝える活動でオクリンクを活用することで、ひな形となるカードを教師が作成し児童に一斉送信できるため、児童が考えを書く際に文型が定まっていて書きやすい。
- ・「みんなにおくる」機能を活用することにより自席にいながらより多くの友達に送ることができる。
- ・カードのコピーが容易なため、「もっとたくさんの友達のよいところを見付けたい！教えたい！」という児童の思いにも十分応えられる。

6 年間指導計画における位置付け

指導時期 の目安	主題名	教材名	内容項目
2月 (本時)	「じぶんの よさ」	「あなたって どんな 人？」	A 個性の伸長
付録	「じぶんの よい ところ」	「ぼくは 小さくて 白い」	A 個性の伸長

7 本時 (1 / 1時)

(1) ねらい

人には様々なよさがあることに気付くことで、自分が得意なことや苦手なことは何なのかを考え、自分や友達の特徴に気付き、それを大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

	○具体的な学習活動と主な発問 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価 □情報モラルに関する指導 ■ I C T活用
課題把握	○ぴかぴかさんの発表をしている動画を見る。	■ぴかぴかさんの発表動画を見せる。 ◇ねらいとする指導内容への導入を図る。
	めあて 友達のよいところをたくさん見つけて伝えよう。	
展開	<p>○教材を読んで、それぞれのよさについて考え、話し合う。</p> <p>○「ぼく」の友達がどんな人なのか話し合う。</p> <p>○「ぼく」の友達は、どんな人でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まさくんはよく忘れ物をしてしまうけど、友達に優しい。 ・ほのかさんはプールが苦手だけど、ピアノが上手。 ・つばさくんとあおいさんは掃除をちゃんとしている人。 <p>○友達のことを紹介する「ぼく」の気持ちを考える。</p> <p>○「えらいな…ぼくもまねしようっと。」と言った「ぼく」はどんなことに気付いたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと掃除ができてすごいな。 ・僕も掃除をちゃんとできるようになりたいな。 <p>○友達の良さをカードに書いて伝え合う。</p> <p>○友達のよいところを見つけて、伝えてあげましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんは落とし物を見付けるといつも一生懸命持ち主を探してくれるね。 ・Bさんはボールを遠くまで投げられるね。 ・Cさんは絵が上手だね。 	<p>◇「ぼく」の発言や挿絵から、それぞれの人物の特徴を捉えさせる。</p> <p>■スライドを見せて教材文を読み聞かせる。</p> <p>◇挿絵の「ぼく」の発言を使ってスライドを作成して読み聞かせることで、児童が道徳的価値に迫りやすくする。</p> <p>◇人にはそれぞれ得意・不得意やよさ・課題があることに気付かせるとともに、ちがいがあってよいことに気付かせる。</p> <p>◇挿絵をもとに、二人のよさを考えさせる。</p> <p>◇「まねしようっと。」という発言から、友達のよさに気付くとともに自分のよさを伸ばしていくことも大事であることに気付かせる。</p> <p>■オクリンクを使って友達のよさをカードに書いて伝え合わせる。</p> <p>◇担任が児童一人ひとりによさを伝えるカードを送る。よさを教えてもらう嬉しさを感じさせるとともに、書き方の参考とさせる。</p> <p>◇教材文を参考に、生活態度や友達との関わり、文化面・運動面など様々な面から友達のよさを捉えさせる。</p> <p>◇班の友達全員にカードを送った後、他の班の友達にも送ってよいことにする。全員が少なくとも3人以上からカードを受け取れるようにする。</p>

	<p>○よいところを見つけてもらってどんな気持ちになったか考える。</p> <p>○友達とよいところを見付け合ってどんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところがたくさん見付けられてよかった。 ・よいところを見つけてもらえて嬉しかった。 ・もっと絵が上手になりたいと思った。 	<p>□受け取った相手が嬉しくなる言葉を用いることを指導する。</p> <p>◆自分や友達の、よさや特徴に目を向けている。 (発言、オクリンクのカード)</p>
振り返り	○教師の説話を聞く。	◇自分のよさを伸ばした経験を話すことで、児童が自分のよさを伸ばそうとする意欲付けをする。

<本時の観察の視点>

- ・導入と展開前段の資料提示でICTを活用したことは、児童に道徳的価値に迫らせるために有効だったか。
- ・友達のよさを見付け伝える活動でオクリンクを活用したことは、児童に友達や自分のよさや特徴に目を向けさせるために有効だったか。